



志木二小だより

令和2年1月号

志木市立志木第二小学校

志木市館1丁目2番1号

TEL 472-0540

学校教育目標 **進んで学ぶ子 心の豊かな子 体をきたえる子**

児童数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	たんぽぽ	12/24 現在
	76	95	73	77	87	101	13	522



2020年 念頭にあたって

校長 齋地 満

新年あけましておめでとうございます。子ども達、保護者、地域の皆様におかれましては、新たな年を健やかに迎えられたことと存じます。本年が皆様にとりまして、輝かしい年となりますようお祈り申し上げます。今年、子(ね)年です。十二支が始まる年であることから、「すべての始まりと、未来への可能性」という意味があるそうです。

さて、新国立競技場も完成し、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックの開催が迫ってきました。外国語活動の授業でも、教材として取り上げ、見たい競技のスケジュールを立て、見どころなどを紹介し合う学習をしていました。オリンピックの聖火は3月26日に福島県を出発し、全国を回ります。埼玉県では、7月7日から3日間かけて、聖火が巡るようです。また、埼玉県では、オリンピック4競技(バスケットボール、サッカー、ゴルフ、射撃)とパラリンピック1競技(射撃)が開催されます。志木二小の子ども達にも日本人選手の活躍や世界トップレベルのパフォーマンスを身近に感じ、感動に触れてほしいと思います。

2020年は、小学校でも大きな動きがあります。新学習指導要領による学習の全面実施です。「学習指導要領」とは、全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程(カリキュラム)の基準です。およそ10年に1度、改訂しています。子どもたちの教科書や時間割は、これを基に作られています。今回の改定では、社会に出てからも学校で学んだことが生かせるように、

- ①学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性
- ②実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能
- ③未知の状況にも対応でき思考力、判断力、表現力

の3つの力をバランスよく育むことが重要になります。(※これに伴い、通知表も変更となります。)

学校で学んだことが、子ども達の「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながるものとなり、これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。新しい「学習指導要領」には、そうした願いが込められています。

本校としても、新しい学習の導入に向けて、教職員一同研鑽を積み、子ども達の学習を充実させる契機としてまいります。

保護者アンケートへのご協力ありがとうございました

昨年12月に実施しました保護者アンケートでは、多くの保護者の皆様にご協力をいただきまして、ありがとうございました。おかげさまで、多くの励ましの言葉やご意見を頂戴しました。いただいたご意見等は検討の上、可能な限り今後の教育活動に生かせるよう努力してまいります。

プログラミング教育コンピュータがプログラムによって動き、社会で活用されていることを体験し、学習します。

外国語教育「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の力を総合的に育みます。

道徳教育自分ごととして「考え、議論する」授業などを通じて道徳性を育みます